

長岡京市
第2期
教育振興
基本計画
＜改定版＞

心のふれあいを大切に 生きる力をはぐくむ

明日の長岡京を創る しなやかな人づくり

はじめに

本市では、令和3年3月に「長岡京市第2期教育振興基本計画」を策定し、今後10年間、目指すべき方向として定めた“基本理念”、“目指す人間像”の実現に向け、各種教育施策を推進してまいりました。

近年、グローバル化の進展、生成 AI をはじめとするデジタル技術の飛躍的な進展、頻発する自然災害、記録的猛暑などの気候変動など教育を取り巻く環境が大きく変化しています。そうした中、学校教育においては GIGA スクール構想による ICT 環境の整備など環境整備が進んでいますが、増え続ける不登校児童生徒への対応等の課題もあり、社会教育においては世代間交流の機会や担い手の減少などの課題も生じています。

そのため、計画期間の中間年を迎える令和7年度に、計画策定から5年間の取り組みの検証を行うとともに、社会情勢等の変化に伴う、新たな教育課題や市民ニーズに対応するため、「中間見直し」を実施し、今後5年間の本市教育行政の指針となる計画を再構築しました。

今後も引き続き、激動の時代を豊かにたくましく生き、未来を拓く人材を育てるとともに、生涯学び、活躍し、誰もが社会の担い手となる環境の整備に努めてまいります。こうした取り組みを通して、本市の第4次総合計画基本構想において掲げる「住みたい 住み続けたい 悠久の都 長岡京」の実現に向けたまちづくりを推進してまいります。

最後に、この計画の策定にあたって、多大なご尽力をいただきました長岡京市教育振興基本計画審議会の皆様をはじめ、関係者の皆様、多くの意見をいただきました市民の皆様に心から感謝申し上げますとともに、本計画の推進に当たり引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月

長岡京市教育長 西村 文則

目 次

| | |
|---|-----------|
| 第1章 計画の改定にあたって | 1 |
| 1 計画改定の趣旨 | 2 |
| 2 計画の位置づけ・計画期間 | 3 |
| 3 中間見直しの策定体制 | 4 |
| 第2章 長岡京市の教育を取り巻く状況 | 5 |
| 1 社会情勢の変化 | 6 |
| 2 国の動向 | 9 |
| 3 京都府の動向 | 11 |
| 4 本市の動向(長岡京市第2期教育振興基本計画の進捗状況・成果と課題) | 11 |
| 第3章 長岡京市の教育が目指す姿 ※教育大綱 | 25 |
| 1 基本理念 | 26 |
| 2 目指す人間像 | 27 |
| 3 基本目標 | 29 |
| 4 施策の基礎となる視点 | 30 |
| 5 新たな教育の循環 | 32 |

| | |
|--|-----------|
| 第4章 今後5年間における施策の展開 | 34 |
| 1 基本目標1 子どもたちの「生きる力」の育成 | 37 |
| 2 基本目標2 持続可能な教育施策推進のための環境整備 | 48 |
| 3 基本目標3 生涯を通じた、多様な学びによる豊かな人づくり、地域づくり | 53 |
| 4 基本目標4 子どもを中心につながる地域の学びの場の推進 | 64 |
| | |
| 第5章 計画の推進に向けて | 68 |
| 1 計画の周知と情報の発信 | 69 |
| 2 計画の推進と点検評価 | 69 |
| | |
| 資料編 | 70 |
| 1 用語解説 | 71 |
| 2 長岡京市における教育文化施設の立地状況 | 77 |
| 3 統計データからみる長岡京市の現状 | 78 |
| 4 意見聴取結果からみる長岡京市の教育 | 95 |
| 5 長岡京市教育振興基本計画審議会等 | 97 |
| 6 計画の策定経過 | 101 |

用語解説について

- ・本文中で解説が必要な用語については、最初の用語のみ※を付けています。
- ・解説は71ページの用語解説一覧にて、アルファベット、50音順に掲載しています。